

外国籍等の家庭の受け入れ環境の整備について

氏 名：永井 未那美

目次	1
序論	2
第1章 園の現状と課題	4
第1節 園の現状.....	4
第2節 園の課題.....	5
第2章 課題への取り組みとまとめ	8
第1節 課題への取り組み.....	5
第2節 取り組み後の保育者と保護者の意見.....	7
第3節 まとめ.....	12
引用文献	15
参考文献	16
資料①	17
資料②	18
資料③	19
資料④	20
資料⑤	21
資料⑥	21
資料⑦	22

序論

日本における在留外国人について杉本・樋口（2019）は「グローバル化の推進と日本の少子高齢・労働人口減少に伴い、日本に在留する外国人は増加の一途を辿っている」と指摘している。あい・あい保育園千葉ニュータウン中央園がある印西市も例外ではなく、住民基本台帳（総務省 2014, 2021）によると、印西市在住の外国人数は 2013 年 12 月末には 1,105 名であったが 2020 年には 2,394 名と 2.2 倍になっている。また法務省「在留外国人統計」によると 0 歳～6 歳の外国籍の乳幼児数は、2014 年には 98,133 名であったが、2020 年には 126,846 名と 1.2 倍となっている。久富（2004）が「在日外国人の子どもたちが幼稚園や保育所に入園することが珍しいことではなくなっている」と述べているように保育の国際化が課題となっている。

外国籍の園児等について保育所保育指針（厚生労働省、2018）においては、「子どもの国籍や文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるようにすること」、「外国籍家庭など、特別な配慮を必要とする家庭の場合には、状況等に応じて個別の支援を行うよう努めること」と記載されている。また保育所保育指針解説書（厚生労働省、2018）においては「保育士等はそれぞれの文化の多様性を尊重し、多文化共生の保育を進めていくこと」や「外国籍の子どもの文化だけでなく、宗教や生活習慣など、どの家庭にもあるそれぞれの文化を尊重すること」が必要であると示されている。

しかし、外国籍等の園児および保護者の受け入れに関しては様々な課題が数多くの先行研究で示されている。日本保育協会（2008）は文化の違いにより対応に苦労していること、外国人の保護者とうまくコミュニケーションできない問題を抱えていること、和田上ら（2017）は子どもに対しても親に対しても意思伝達において保育士が戸惑っていること、堀ら（2017）は外国籍幼児の持つ文化を尊重しながら日本人幼児との関わるきっかけ作りやそのための支援の必要性についてそれぞれ課題として指摘している。近年では三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング（2020）が実施した「保育所等における外国籍等の子ども・保護者への対応に関する調査研究事業」において、「入園申し込み段階において、保育所等の入園手続きの方法について説明することが難しい」、「保育所のルールを伝えることが難しい、保護者と十分なコミュニケーションがとれない」ということが課題として挙げられている。ちなみにこの調査研究事業の報告では調査で得られた各市町村の取り組みをまとめた「保育所等における外国籍等の子どもの保育に関する取り組み事例集」（三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング、2020）も同時に作成されている。

以上のように日本保育協会（2008）が保育の国際化を取り上げてから 10 年以

上経ってから実施された三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング（2020）の調査においても 2008 年の研究において指摘された課題と同様の内容が課題として挙げられている。これらのことから、増え続けている外国籍等の家庭の保育所等での受け入れ環境の整備は必要であると認識されながらもあまり進められていないということが現状である。

本調査では園の現状に合わせた形で外国籍等の家庭を受け入れる際の環境の整備について取り上げていく。

第1章 園の現状と課題

第1節 園の現状

あい・あい保育園千葉ニュータウン中央園は 2018 年 10 月に開園し、現在（2022 年 2 月時点）で 4 年目を迎えた園である。在園児は 72 名であり家庭数は 54 家庭となっている。そのうち、外国籍等の家庭が 5 家庭であり、全体の約 1 割を占めている。また、2021 年 4 月以降、外国籍等の家庭の見学を 6 件受け入れており、どの家庭も入園を希望しているとの話があった。

千葉ニュータウン中央園では開園からこれまで、卒園・退園した園児も合わせて合計で 11 家庭の外国籍等の家庭を受け入れてきた。これまではどの家庭も日本語での会話、読み書きが堪能な保護者ばかりであり、受け入れるにあたって園側が困ったことがほとんどない状態であった。しかし、2021 年度に入園した 4 家庭のうち 3 家庭は両親もしくは保護者の一方が、日本語での会話もしくは読み書きが堪能ではない保護者であった。入園関係書類等はルビのない日本語の書類のみであったため児童票等の必要書類の記入、重要事項の説明、アプリ等の各種登録がスムーズにいかないことが多かった。これについては井濃内ら（2020）も『入園のしおり』や連絡帳、お手紙類の、漢字が多くルビのない文書スタイルや、重要性の判断が難しい連絡の伝え方といった情報デザインの障害によって、保育園からの連絡が保護者に届きにくくなっている」と述べている。対応の際にはその都度、翻訳機を使用したり、身振り手振りを交えてコミュニケーションをとってきたが、保護者がどこまで理解してくれているのかはわからない。また、登降園時は家庭でのこどもの様子を聞いたり、園での様子を伝えたりする保護者との重要な時間であるにもかかわらず、ほぼ挨拶のみのやり取りとなっている。持ち物等の伝達事項があった際には、保護者に必要な持ち物を伝えると「わかった」との返事があるが、何日か経っても持ってきてもらえない時に「意味がわからないから持ってきていない」のか「意味はわかっているが持ってこない」のかがわからない場面がある。園での行事に関しても、行事名だけを伝えても内容が伝わらないため「〇〇という行事とは～です」というところから説明す

る必要があるが、どのように伝えれば良いかわからず行事の中身や目的を丁寧に説明できないまま実施してしまったこともある。また、そういったこともあり保育者も「うまく伝えられない」「話しても伝わらないかもしれない」という理由から、「園長先生（伝達）お願いします。」となってしまう、保育者が保護者とのコミュニケーションにおいて消極的になってしまう姿が見受けられる。さらに伝達した場合でもそのあとに「伝わっているのかわからない」と発言することが多い状態が続いている。

第2節 園の課題

第1節で示した現状から、先行研究で示されている課題と同様に当園の保育者も外国籍等の保護者とのコミュニケーションにおいて不安を感じていることが明白である。外国籍等の保護者とのコミュニケーションにおいて配慮すべき取り組みとして、三菱UFJリサーチ&コンサルティング（2020）は、日々の文書の翻訳やイラストや写真を用いての説明、日本の保育所のルールや考え方を理解してもらうことを最初にあげている。これに対し、当園は書類はすべて日本語でイラスト等のない文章だけの書類である。また、保護者とのコミュニケーションツールとして連絡ノートアプリを使用しているが、このアプリも日本語表記にしか対応していない。これらのことから保育者がコミュニケーションにおいて不安を感じている原因は、日本語の書類しかないことや日本語以外で伝達事項を伝える手段を持っていないなど園の外国籍等の家庭を受け入れるための環境が整っていないことにあると考えられる。環境が整っていないため、保育者の不安が高まり、伝達事項等の必要な情報が伝えられていない。井濃内・井出（2020）は「保育園でのコミュニケーションをめぐる恒常的な不安は誤解を生みだし、時に衝突へと発展することもある」と述べている。現時点では大きな衝突は生じていないが、今後もこのような状態が続くことはいずれ衝突につながる可能性が大きく園の運営において望ましくない状態であると考えられる。保育者が自信を持って伝達事項を伝えることができ、保護者もその内容を理解し安心して通園することができるよう、園の受け入れ環境の整備に取り組んでいく。

第2章 課題への取り組みと考察

第1節 課題への取り組み

保護者に伝達をする場面は大きく分けると「入園時」と「登降園時」となる。厳密に考えていくと2つの場面以外にも保育参加や個人面談など他にも重要な場面は多くあるが、本検討では全員に必ず行う入園時の説明と毎日保育者が応対することになる登降園時の2つの場面に対しての取り組みを実施していく。

1. 入園時

入園時には多くの事柄を説明し、書類等を記入してもらう必要がある。書類の記入に関しては保護者の同意を得た上で、自治体から送付される資料から必要な情報を拾い集め、代筆をするなどの方法で対応することができる。しかし、重要事項説明書に記載している内容や、園のルール、給食費や延長保育料などの費用面、給食内容については確実に保護者に理解してもらう必要がある。そこで、確実に理解してもらいたい内容については《表1》に示した4種類の資料(資料①②③④)を作成した。これらの資料は短い英語の文章とイラストを使用し作成した。(英語を使用した理由としては、在園児の保護者から「英語ならわかる」との発言があったため)

《表1》

資料①	保育園のルールについて
資料②	持ち物について
資料③	給食費、延長保育料について
資料④	喫食食材について、アレルギーについて、宗教食について

2. 登降園時

1か月間の全クラスの保護者への伝達内容を記録したところ、登降園時(主に降園時)に保護者に伝達する内容は大きく分けると5項目となった。それぞれの項目に対して以下の《表2》のように保育者が伝達しやすくするための環境を整えた。

《表2》

伝達項目	環境整備
その日の様子について	Communication sheet の作成 (資料⑤)
着替え等について	Request sheet の作成 (資料⑥)
ケガやトラブルについて	Communication sheet の作成 (資料⑤) フレーズ一覧の作成 (資料⑦)
体調について	フレーズ一覧の作成 (資料⑦)
書類について	フレーズ一覧の作成 (資料⑦)

資料⑤～⑦の内容については《表3》の通りである。

【Communication sheet (資料⑤)】

毎日伝達する内容であり、保護者も関心度の高い事柄である。活動内容は様々なものがあるが大きく分けると「外遊び・製作・運動遊び・ままごと・英語レッスン」などの日常の活動と「身体測定・避難訓練・誕生会」を含む各イベントが

ある。保育者も伝えやすく、保護者もわかりやすいようイラストを用いて作成した。実施した活動のイラストに○をつけ降園時に保護者に手渡す。また、同時にその日にケガやトラブルがあった場合には図と文章を記入して渡す。

【Request sheet (資料⑥)】

持参してもらいたいもののほとんどは着替えに関するものであることから、「上の服、下の服、肌着類 (オムツ類)」に分け、イラストを用いて作成した。また、年齢によって分けられるよう「オムツ」と「肌着類」のシートを作成した。必要な物に○をつけ、必要な数量を記載し、保護者に手渡す。

【フレーズ一覧 (資料⑦)】

主に伝達する頻度が高いと思われるケガやトラブルまたは体調についての内容に関して、英語の例文をまとめている。主に降園時の伝達の際に使用する。また、Communication sheet に記入する際や、Request sheet を手渡す際等にも活用していく。尚、作成にあたっては仙台観光国際協会「保育所での会話集 (日本語・英語)」を参考にした。

《表 3》

	内容	運用方法
Communication sheet (資料⑤)	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の活動 ・保育者からのコメント ・トラブル、ケガの報告 ・保護者からのコメント 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日記入し、手渡し ・実施した活動のイラストに○をつける ・トラブルがあったときに内容を記入 (フレーズ一覧を参考に記入する) ・ケガがあった場所に○をつける
Request sheet (資料⑥)	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち物のイラスト ・必要な数量 	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜記入し手渡し ・必要な持ち物に○をつける ・必要な数量を記入する
フレーズ一覧 (資料⑦)	<ul style="list-style-type: none"> ・着替え等に関する項目 ・体調不良の時 ・ケガをした時 ・迎への依頼の時 ・お願い、連絡事項の時 ・登園、降園時 	<ul style="list-style-type: none"> ・降園時と Communication sheet 記入時に使用。 ・読むもしくは指差して伝達する

第2節 取り組み後の保育者と保護者の意見

資料①～④の作成後に入園してきた外国籍等の園児はいないが、在園している園児の保護者に資料①を用いて主に登園時間と欠席時の連絡方法について改めて説明を行った。すると、これまでは欠席時に連絡がなく、園から問い合わせの連絡をしていた家庭の保護者が、欠席の理由とともに電話連絡をくれるようになった。資料②～④の有益性については今後の検証課題とする。また、資料⑤～⑦の活用後に感じたことについて保育者に半構造化インタビューをおこなった。協力者には、目的と概要を説明し、得た回答から個人は特定されないこと、データは本調査のみに使用することを説明してインフォームドコンセントを得た。

実施時期：2022年1月

対象：保育者 4名（主に外国籍等の保護者と接する保育者）

質問内容：①各種シートを活用してみたの感想

②シートを活用したことによる変化とその内容

③改善点

質問内容については、利根川ら（2014）の質問項目を参考とした。

インタビューの書き起こしをおこない、それらをフリーソフトのKH Corderを使用して、インタビューの回答の中で使用されていた語を抽出した。抽出された語の上位15個は《表4》に示した通りとなっており、これらの抽出語から《図1》に示したような共起ネットワーク図の描画を行った。「共起ネットワークとは出現パターンの似通った語、すなわち抽出語間の共起性の強さをネットワーク図で表したものであり「円の大きさは言葉の頻度の多さを示し、円をつなぐ線の距離は関連性の深さを示している」（岩森, 2020）。

《表4》

List				
#	抽出語	品詞/活用	頻度	
田 1	思う	動詞	34	
2	英語	名詞	12	
田 3	伝える	動詞	12	
田 4	言う	動詞	11	
田 5	書く	動詞	11	
田 6	伝わる	動詞	11	
7	言葉	名詞	9	
8	お母さん	名詞	7	
9	安心	サ変名詞	7	
10	不安	形容動詞	7	
11	活動	サ変名詞	6	
12	感じ	名詞	6	
田 13	作る	動詞	6	
14	様子	名詞	6	
15	連絡	サ変名詞	6	

しっかり持ち物とか行事にしっかり来てくれたりとかするのかな」との発言があり、保育者だけではなく外国籍等の保護者にとってもシートを活用することがプラスに働いていると感じられていることがわかった。

【③改善点】

シートの活用によって安心を得られている点もあるがやはりコミュニケーションとしては不十分に感じている点もあった。インタビューの中では「お渡しして終わっちゃってる感じはしてる」「家での様子も知りたいから戻ってくるシステムがあってもいい」との声があった。確かに今回作成した「Communication sheet」は保育者が「伝える」ということに重点を置いたシートであったため、保護者との「やりとり」に関しては不十分な点があった。また「置き換えられる単語がたくさんあったら」との意見もある。資料⑦だけでは補えなかった部分もあるため、段階を追って必要な単語を増減させていく必要がある。

また、協力が得られた 2 名の外国籍等の保護者にも半構造化インタビューをおこなった。協力者には目的と概要を説明し、得た回答からは個人は特定されないこと、データは本調査のみに使用することを説明し、インフォームドコンセントを得た。保護者にはあらかじめ質問内容を伝え、あらかじめ回答を記入してもらい回答した内容に基づいてインタビューをおこなった。

- 実施時期 : 2022 年 2 月～3 月
対 象 : 外国籍等の保護者 2 名
質問内容 : ①各種シートの感想（その他、園からの伝達について）
②保育者とのコミュニケーションについて
③改善点

インタビューで得られた回答については KJ 法を用いてグループ化をおこなった。

【書類の表記について】

- ・ English OK.
- ・ 荷物、時間。OK. わかる
- ・ 絵見たらだいたいわかる
- ・ ひらがなとカタカナを抜いて漢字をちょっとずつ見ればなんとなく意味がわかります
- ・ いただきますとか申し上げるとかそういう言葉わかりづらいです

今回の取り組みでは、各種書類の表記には主に英語を使用した。英語を使用したことで伝達事項が伝わりにくいと園側が感じていた保護者には、伝達内容を理解してもらうことができていたことがわかった。しかし、保護者の出身国によっては漢字で表記することで伝わりやすい場合もあった。どちらの場合においても、絵や写真などの視覚的な表現はわかりやすいとの意見だった。

【保育者とのやりとり】

- ・日本語の表現いくつかある
- ・先生みんなやさしい
- ・あれって思ったらわかりやすい言葉説明してくれます
- ・です、ますのほうがわかりやすい
- ・日本語わからない
- ・家族内は日本語ほとんど話せません

登園時や降園時でのやりとりでは、やはり日本語がメインであるためわかりにくい場面が多く、園側が伝えたいと考えている内容が伝わっていない場合も多いことがわかった。ただそういった場面でも、保育者と保護者の両方で一つの言葉をいろいろな方法で表現し合いながら、理解を深めている様子が感じられた。

【こどもの園での様子】

- ・ともだち、わからない。パンチ。涙。
- ・発達が普通の子よりはちょっとゆっくり
- ・成長感じられる。見たこと聞いたこと覚えてくる。
- ・日本語理解できるかどうか。そこが一番心配
- ・(こどもは)日本語話す

資料⑤Communication sheet では園でトラブルやケガがあったときに記入する欄を設けているが、保護者からすると不十分であったことがわかった。保育者が記入できていないというよりは、子どもの様子で見えていない部分があるのではないかと考えられる。保育者が把握できていないことが多いために、保護者にも伝えることができていないという課題が浮き彫りとなった。そのような中でも園児自身は保育園での生活の中で日本語や歌を覚え、家庭で保護者に伝えようとし、保護者もそれを理解しようとする様子が感じられた。

【文化的・習慣的な違い】

- ・春夏秋冬でも問わず、全部靴下脱ぐのはびっくり
- ・洋服の着替えはありませんでした
- ・冬と秋は肌着着るけど、日本の夏暑い。夏も着るのは初めて知りました。
- ・給食の前に歌をうたうのもびっくり
- ・いただきます、ごちそうさまもないです。習慣がないのでつい忘れちゃう
- ・運動会するときに、ランクがなくて参加ができればみんなおなじメダル
- ・こどもたちの荷物のロッカーに防災グッズなどが揃えて、定期的に生徒たちが防災訓練をします
- ・食育のことも知りませんでした

行事等の内容や伝達事項について話を聞く中で、外国籍等の保護者が多くの文化的・習慣的な違いを日頃から感じていることを知ることができた。日本の保育園では日常的に行われていることが外国籍等の保護者にとっては驚きの連続であることがわかった。行事の内容については、説明をしたことがあるが園での日常生活についてあらかじめ一つ一つ説明をしたことがなかったことに気がつかされた。

【園への要望】

- ・こども、日本語。私、わからない。ともだち。
- ・紙に書かれた一日の流れ、詳しく書いて
- ・保育園に必要なものとか全部メモで渡した方がわかりやすい
- ・です、ますの方がわかりやすい

これらの保護者の回答から資料①や資料②についても外国籍等の保護者がこどもを保育園に通わせる際には必要な書類であることが示された。さらに、保育園ではどういったことをおこなっているのか、なぜそれをおこなっているのか等についてもあらかじめ説明していく必要があることが感じられた。園側としては日常的に当たり前に行っていることが当たり前ではない家庭があるということをおぼろげに認識していく必要があると感じた。

第3節 まとめ

本調査では、外国籍等の保護者を受け入れるにあたって園の環境が整っていないために、保育者が必要な伝達事項を伝えられていないということを課題として取り上げた。この課題に対し、主に伝達の際に使用できるツールとして簡単

な英語やイラストが含まれる書類を作成し、受け入れ環境の整備に取り組んだ。伝達の際の環境を整えたことによって、保育者がどのように伝えていったら良いのかがわかるようになり、外国籍等の保護者に対して必要最低限の伝達事項を伝えられるようになった。このことにより、保育者側は消極的だった保護者とのコミュニケーションに前向きに取り組んでいけるようになった。また、保護者側も持ち物や行事の日時など本当に必要最低限のことについては理解ができているということがわかった。

しかし、保護者へのインタビューの結果から今回の取り組みだけでは不十分である点が多く示された。まずは、書類等の表記についてである。外国籍と一口に言ってもその出身国は多様である。当然のことながら外国籍だからどの家庭も英語が理解できるわけではない。すべての国の言語に対応することは到底難しいことではあるが、「英語がわかる」「漢字がわかる」「ひらがななら読める」などそれぞれの保護者に合わせた対応が求められる。そのためには、入園の段階でどのような方法でコミュニケーションをとっていくことが必要であるかしっかりとヒアリングを行う必要がある。

登園時・降園時の保育者の対応については好意的な意見も得られたが、こどもの様子や成長を正確に伝えられていない現状も明らかとなった。また、取り組み自体が「保育者が伝える」ことに重点を置いたものであったため保護者の声を「聞く」という姿勢が足りていなかった。この点に関しては、保護者が困りごとや不安を長期間抱えることがないように、登降園時などの短時間のやりとりだけでなく定期的な個人面談等の機会を利用して保護者の声を聞いていくことが望ましいと考えられる。

また、インタビューの中では保護者が入園してみて驚いたことが多く挙げられた。このことから入園時には保育園での生活について一つ一つ丁寧に説明していく必要があると考えられる。日本の保育園でのルールや日常的に行われていることが国や地域によっては当たり前ではないという認識をあらためて持たなければならない。保育園でのルールや活動内容には一つ一つ必ず意味やねらいがある。それらについて保育者一人一人がきちんと理解していなければ、保護者に対して説明することはできない。江藤（2017）が「外国人の子どもの受け入れはつまるところ、日本人の子どもの保育の在り方を問い直していると言える」と述べているように、これは、外国籍等の保護者に対してだけでなく日本人の保護者に対しても同じである。「外国籍等の保護者だから丁寧に対応する」のではなく、どのような保護者に対しても自分たちのおこなっている保育について根拠を持って説明し、理解してもらうことができるよう日頃から保育内容のねらいや意味についてしっかりと理解した上で保育をおこなっていかなければならない。

書類等の表記の仕方、登園・降園時のこどもの様子の伝達の仕方、保育内容についての説明などどれも「外国人保護者だから生じる問題ではなく、日本人保護者にも起こる問題」(井濃内ら, 2020)である。本調査、取り組みには上述したように多くの課題が残っている。外国籍等の保護者の受け入れ環境を整備することは、自分たちの保育の在り方について見直す契機となり、より良い保育・保護者対応につながるものであるということを改めて認識し、今後の保育に取り組んでいきたい。

引用文献

- 杉本香・樋口尊子(2019)「保育者から見た外国人保護者とのコミュニケーションにおける問題と日本語教育支援の可能性：東大阪市でのアンケート調査の結果から」『大阪樟蔭女子大学研究紀要』9巻、p. 1
- 総務省 (2014) 「住民基本台帳」
- 総務省 (2021) 「住民基本台帳」
- 法務省 (2014) 「在留外国人統計」
- 法務省 (2020) 「在留外国人統計」
- 久富 陽子(2004) 「外国人の子どもと保育者とのコミュニケーションに関する一考察」『保育学研究』第42巻第1号、p. 19
- 厚生労働省 (2018) 「保育所保育指針」 p. 48, 57
- 厚生労働省 (2018) 「保育所保育指針解説書」 p. 294, 295
- 社会福祉法人日本保育協会(2008) 「保育の国際化に関する調査研究報告書—平成20年度—」 p. 81
- 和田上貴昭 (2017) 「外国にルーツをもつ子どもの保育に関する研究」『保育科学研究』第8巻 p. 16
- 堀奈美・松本信吾・七木田敦・清水寿代・川口麻希・菅村亨・中邑恵子・小嶋治鈴 (2017) 「多文化共生社会における外国籍幼児の支援に関する実践的研究—コミュニケーションの広がりを目指した保育の構築—」『広島大学学部・付属学校共同研究機構研究紀要』第45号 p. 29
- 井濃内歩・井出里咲子 (2020) 「保育園と外国人保護者のコミュニケーション—こどばを問い、フィールドとのかかわる言語人類学的実践研究」『言語文化教育研究』第18巻 p. 73
- 利根川智子・和田明人・音山若穂・植村祐樹 (2014) 「継続的カンファレンスで対話を重ねることによる保育者の意識の変化」『会津大学短期大学部研究紀要』第71号 pp. 1-27
- 岩森三千代 (2020) 「KH Corder を活用した自由記述による授業評価アンケートの解析と客観化の試み」『新潟青陵大学短期大学部研究報告』第50号 pp. 95-103
- 江藤明美 (2017) 「多文化共生保育の現状と課題—S市保育行政の取り組みを中心に—」『鈴鹿大学短期大学部紀要』37巻 p. 157
- 井濃内歩・井出里咲子 (2020) 「保育園と外国人保護者のコミュニケーション—こどばを問い、フィールドとのかかわる言語人類学的実践研究」『言語文化教育研究』第18巻 p. 76

参考文献

- 岡野雅子 (2017) 「日本語を母語としない幼児に対する保育現場における支援—言葉に着目して—」『東京福祉大学・大学院紀要』第 7 巻第 2 号 pp. 115-124
- 喜始照宣・長江侑紀 (2016) 「多文化保育における保育者のストラテジー」『田園調布学園大学紀要』第 11 号 2016 (平成 28) 年度 pp. 189-208
- 管田貴子 (2006) 「外国籍幼児の保育所への適応過程に関する研究—留学生家族の子どもの事例から見えてくるもの—」『保育学研究』第 44 巻第 2 号 pp. 104-113
- 上野直子 (2003) 「在日外国人幼児へのコミュニケーション支援：家族への援助の視点から」『コミュニケーション障害学』Vol120 pp. 34-39
- 堀田正央・松永幸子・森本昭宏 (2012) 「日本語を母語としない保護者を持つ子どもの認可外保育施設利用に関する研究：保育者の意識を中心に」『埼玉学園大学紀要。人間学部篇』12 巻 pp. 113-123
- 宮崎元裕 (2010) 「日本における多文化保育の意義と課題—保育者の態度と知識に注目して—」『発達教育学部紀要』 pp. 129-137
- 韓在照 (2018) 「多文化保育実践における保育者の認識についての研究—八尾市の事例から—」『四天王寺大学紀要』第 65 号 pp. 435-452
- 和田上貴昭 (2018) 「保育所における外国にルーツをもつ子どもの親支援に関する研究」『保育科学研究』第 9 巻 pp. 44-51
- 印西市 (2021) 「印西市国際化推進方針 ver. 3.0～多文化共生のまちを目指して～」
- 公益財団法人 仙台観光国際協会「保育所での会話集 (日本語・英語)」
新宿区 「多言語版 保育園のしおり<英語版>」
- 香曾我部琢 (2011) 「保育者の専門性を捉えるパラダイムシフトがもたらした問題」『東北大学大学院研究科研究年報』第 59 集・第 2 号 pp. 54-68
- 鬼頭弥生 (2020) 「ルーツの異なる子ども同士の関わり方について—保育士のかかる葛藤に焦点をあてて—」『東海学院大学短期大学部紀要』46 pp. 1-13
- 樋口耕一 (2017) 「言語研究分野における KH Corder 活用の可能性」『計量国語学』31 巻 1 号 pp. 36-45

資料①

Nursery School Handbook

AIAI nursery CHIBA-NEWTOWN-Chuo

Nursery School Hours

The number of hours of day care that each child requires depends on the parent's work schedule and the family's situation.

	Normal time	Short time
Monday-Friday	7:00-20:00 Extended childcare 18:01-20:00	8:30-16:30 Extended childcare 7:00-8:29,16:31-20:00
Saturday	7:00-17:00	8:30-16:30 Extended childcare 7:00-8:29,16:31-17:00

Closed

Nursery school is closed on Sundays, national holidays, and from December 29 through January 3. Nursery school is also closed under certain conditions (such as during an outbreak of a contagious disease).

Withdrawing from Nursery School

If your situation has changed and there is no longer a need for day care, please contact the nursery school.

Dress Code

- Always dress your child in clean, comfortable clothes when commuting to nursery school.
- Dress your child in clothes that are easy to change and easy to adjust according to the weather.
- Please write your child's name on all his/her belongings.

Emergencies and Disasters

- If there is a disaster, such as an earthquake or fire, please pick up your child from the nursery school or designated location as soon as possible.
- Parents must meet with nursery school staff members and complete designed procedures when picking up your child.

Communication with the Nursery School

- Please be sure to give the nursery school the telephone number where you can be reached in case of an emergency.
- If your child is going to be late or absent, please notify the nursery school by 9 a.m.
- Message concerning your child can be sent to any nursery school staff member, not just your child's homeroom teacher.
- Please keep your child at home if he/she has a fever of 37.5°C or higher or has any physical

資料①

problems that may hinder group participation. If your child becomes ill during day-care hours, we will call you to determine what needs to be done, such as taking the child home.

- After your child recovers from a contagious disease, a doctor's written approval is required to send your child back to nursery school.
- As a rule, we are not responsible for administering medicine to children.
- If your child is injured or is in an accident during day-care hours, we will have your child examined and/or medically treated upon consultation with you. Because we are members of the mutual aid scheme operated by the National Agency for the Advancement of Ports and Health (an incorporated administrative agency).
- Please be sure to notify us if there are any changes that affect your household, such as a change in address, place of employment, or family members.
- Please be sure to read the notices and letters that are sent from us.

Practice time

We have practice time when your child enters the nursery school. The period is about 2 weeks.

Others

Your thoughts and beliefs are free, but please refrain from soliciting religious or political activities to others.

Nursery school Calendar of Events

Month	Event	Public Health event	Remarks
April	Celebration of admission and the start of a new school year.		◎Every month • Disaster drill • Physical measurements • Birthday party ◎Ongoing basis • Individual meetings • Excursions
May	Parent's Meeting		
June	Painting with the body	Dental checkup, Health checkup	
July	TANABATA, Pool, Summer festival		
August	Pool		
September	AIAI report, Childcare participation		
October	Halloween, Sports day		
November	Parent's Meeting		
December	Christmas		
January	New year gathering	Dental checkup, Health checkup	
February	SETSUBUN		
March	HINA MATSURI Graduation ceremony		

(参考：多言語版 保育園のしおり (東京都 新宿区) <英語版>)

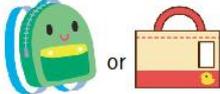
資料②

Nursery items

【First Day】

 Documents	 Maternal and Child Health Book
 Credit card	 Change clothes 3sets
 Shoes	 Diapers 1pack

【Everyday】

 Change clothes 1set
 Waterproof bag
 School bag

【Every Monday】

 Towel bucket or blanket
 Bag for towel bucket

☆Please put your child's name on all your belongings

資料③

About fee

Please pay the nursery when :

1. Your child is in a 3-5 year old class

School lunch fee

6,000yen/a month

2. Extended childcare fee is incurred

After 18:01~

200yen/30 minutes

3. the nursery buys your child's item

We will inform you the fee before purchasing.

※Fees will be charged to your credit card.

資料④

Food ingredients survey form

Name : _____

Birthday: _____

Has your child ever eaten the following ingredients more than once?

Please check the ingredients that your child has eaten.

- | | |
|--------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> Rice | <input type="checkbox"/> Tofu |
| <input type="checkbox"/> Udon | <input type="checkbox"/> Soy milk |
| <input type="checkbox"/> Plain bread | <input type="checkbox"/> Milk |
| <input type="checkbox"/> Chicken | <input type="checkbox"/> Yogurt |
| <input type="checkbox"/> Pork | <input type="checkbox"/> Sesame |
| <input type="checkbox"/> Salmon | <input type="checkbox"/> Banana |
| <input type="checkbox"/> Mackerel | <input type="checkbox"/> Apple |
| <input type="checkbox"/> Shrimp | <input type="checkbox"/> Orange |
| <input type="checkbox"/> Egg | <input type="checkbox"/> Peaches |
| <input type="checkbox"/> Mayonnaise | <input type="checkbox"/> Gelatin |
| <input type="checkbox"/> Soy | |

Question

1. Does your child have any food allergies? No / Yes ()
2. Does your child have any dietary restrictions for religious reasons? No / Yes ()
3. Do you have any other concerns about school lunches? No / Yes ()

Date : _____

Sign : _____

資料⑤

Communication Sheet (/)

About today's activities

 Park	 Drawing
 English/ Study	 physical education
 House	Event ▶Physical measurement ▶Disaster drill ▶Birthday party ▶

Comment

Trouble and injury

Trouble	Injury
Nothing/Troubled	Nothing/Injured 

About your child at home

Please write when you have something to worry about in your child's appearance.

資料⑥

Request Sheet

Please bring the following items.

Item	How many
 T-shirt	
 Pants	
 Socks	
 Diapers	

Request Sheet

Please bring the following items.

Item	How many
 T-shirt	
 Pants	
 Socks	
 Under wear	

お伝え事項でよく使うフレーズ一覧

【着替え・オムツ等に関する事項】

着替えがなかったので保育所の服を貸しました。貸した服は洗濯をして返してください。	We have lent your child a change of clothes since he/she had no spare ones. Please return the clothes after washing them.
(オムツ・パンツ)を貸しました。新品の物で返してください。	We have lent your child (diaper/cloth diaper). Please buy a new one and return it to us.
着替えがありません。新しいものを持ってきてください。	Your child has no change of clothes. Please prepare some ready for use.
もう少し(大きい・小さい)サイズにしてください	Please bring a (larger/smaller) size.

【体調不良の時】

うんちがゆるめ(軟便)でした。	Your child has loose stools.
下痢をしました	Your child has diarrhea.
咳がたくさんでいました	Your child has coughed a lot.
鼻水がたくさんでいました	Your child has a very runny nose.
疲れた様子でごろごろしていました	Your child looked tired and was lying around in the room.
からだに発疹ができました	Your child has a rash on his/her body.

【ケガをしたとき】

今日〇〇ちゃんにあったことをお伝えする必要があります	I need to tell you what happened to 〇〇 today.
蚊に(腕・脚)を刺されました	Your child has been bitten by a mosquito on his/her (arm/leg).
転んで(膝・手)をすりむきました	Your child fell over and has skinned his/her (knee/hand)
〇〇に(腕・脚・頭)をぶつけました	Your child hit his/her (arm/leg/head)on 〇〇.
友だちに(腕・手・指)を噛まれました	Your child had his/her (arm/hand/finger) bitten by his/her friend.
友達の(腕・手)に噛みつきました	Your child has bitten his/her friend' s (arm/hand).
患部を冷やしました	We have cooled down the affected area.
絆創膏をつけました	We have applied an adhesive bandage on the affected area.
家でも(体調・ケガ)の様子を見てください	Please keep an eye on your child' s (physical condition/injuries) at home too.

【迎えの依頼をする時】

《熱》〇〇ちゃんが熱があり、お迎えが必要なので電話しました。	I am calling to let you know that OO started having a fever and she/he needs to be picked up.
《嘔吐》〇〇ちゃんが昼食の後に嘔吐して、お迎えが必要なので電話しました	I am calling to let you know that OO threw up after lunch and she/he needs to be picked up.
《発疹》背中に発疹があります	He/She got some rash on his back.

【お願い・連絡事項】

忘れずに～してください。	Please make sure to 動詞フレーズ
全ての持ち物に、名前の記入をお願いします。	Please put your child's name on every item.
書類は〇日までに書いて持ってきてください。	Please fill in the form and bring it back by O.
爪が伸びているので切ってください。	Please cut your child's nails because they are stretched.
明日は〇〇があります 身体測定・避難訓練・誕生会	We will have a/an () tomorrow. (Physical measurement/disaster drill/birthday party)
明日は祝日なので保育所はお休みです。	Due to a national holiday, the nursery school will be closed tomorrow.
12/29～1/3は年末年始のお休みです	Due to the year-end and New Year holidays, the nursery school will be closed between Dec.28 and Jan.3.

【登園時】

彼女・彼の今朝の様子はどうか？	How is she/he doing this morning?
(調子が悪そうなとき) どうしましたか？	What's wrong?
彼女・彼をよく注意してみています	I will keep an eye on her/him.

【降園時】

今日は(ままごと・お絵かき)をして遊びました	She/He had a good day.
お友達と仲良く遊んでいました。	She/He played well with her friends.

参考：(公財) 仙台観光国際協会 「保育所での会話集 (日本語・英語)」